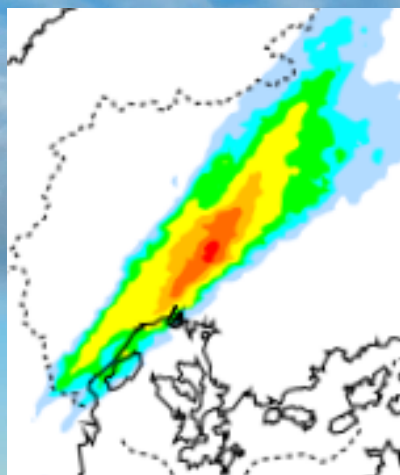


第19回

気象サイエンスカフェin名古屋Zoom

日時：2020年11月29日（日）

午後3時から午後4時30分まで
（Zoomを利用しての開催）



気象庁
気象大学校教頭
加藤輝之氏



テーマ

近年の極端な気象現象の変化と 集中豪雨をもたらす線状降水帯

近年、地球温暖化により集中豪雨や異常高温などが頻発するようになったと言われていています。その変化や要因について集中豪雨に着目して説明します。また、今年の九州での大雨時のように線状降水帯という言葉が報道等でよく使われるようになってきています。

本講演では、線状降水帯の正体とは何かから始め、大雨の発生メカニズムや予測可能性についてもわかりやすく説明します。

定員：40名（先着順）

参加費：無料

申込方法：メールにて s_cafe_nagoya@yahoo.co.jp 日本気象予報士会東海支部 石原あて。件名を「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名、電話番号、所属（気象予報士会員、大学生、自治体、会社員等）を記載のうえ、個人ごとに申し込みください。

Zoomでの参加方法は、申し込み受付後、案内いたします。

（申込時に記載された個人情報はサイエンスカフェ参加の連絡以外は使用しません。）